



AUE News

2012年6月15日

第 42 号

編集・発行
愛知教育大学広報部会
TEL 0566-26-2738
FAX 0566-26-2500



目次

● 行事予定(6月16-30日)

● トピックス

- ・名誉教授称号授与式
- ・天文台一般公開
- ・金星の月面通過特別観望会
- ・セミナー「Mathematicaによるデータ解析」
- ・実習園で田植え
- ・シンポジウム「今後の教員養成高度化の在り方」

- ・陸上部の中野弘幸さんら日本選手権出場
- ・ニューヨーク州立大学フレドニア校学長が本学訪問
- ・JICA集団研修開講式
- ・津島東高校保護者が本学を見学
- お知らせ・報告・投稿
- ・大学祭で本学の国際交流を紹介
- ・附属岡崎小学校で生活教育研究協議会
- ・愛知教育大学国語教育公開講座のお知らせ
- ・催しもの案内

行事予定(6/16-30)

- 20日(水) 教員人事委員会 (13:30～ 第五会議室)
財務委員会 (16:30～ 第五会議室)
- 22日(金) 教職員会議 (12:45～ 第一会議室)
- 25日(月) 安全衛生委員会 (16:40～ 第五会議室)
- 26日(火) 経営協議会 (15:00～ KKRホテル名古屋)
- 27日(水) 教授会 (13:30～ 第一会議室)

トピックス

名誉教授称号授与式(6/1)

2012年度の「愛知教育大学名誉教授称号授与式」が6月1日(金)、本部棟第五会議室で行われた。

名誉教授の称号は本学で長年教壇に立ち、昨年度末に定年を迎えた教員に贈られる。今年、対象になったのは、渡邊貢次、遠西昭壽、宇納一公、長井茂明、吉田正、風岡正明、合屋十四秋、小笠原サチ子の8氏。授与式にはこのうち5人が出席し、松田正久学長から一人ひとりに名誉教授称号記が手渡された。

松田学長は「今日、めでたく名誉教授授与式を迎え



られ、おめでとうございます。長い間、本当に御苦労さまでした。現在、国立大学法人は厳しい中に置かれています。皆さま方には、これまでの経験を生かしていただき、本学への支援を引き続きお願いしたい」などと、お祝いの言葉を贈った。

名誉教授を代表し、宇納特別教授は



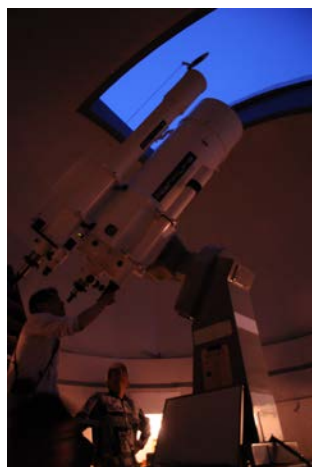
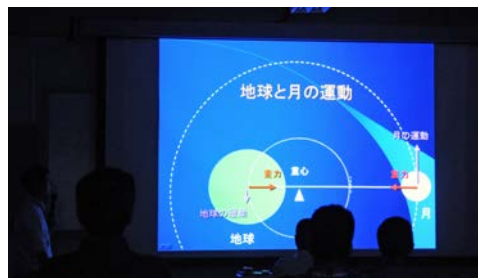
「このような機会を与えていただき、ありがとうございました。今後も、大学のますますの発展を願っております」とあいさつ。

式の後、講堂前で記念撮影が行われ、第一会議室での懇談会では、名誉教授と学長、理事、学系長らが昼食をとりながら歓談した。

天文台一般公開(6/4)

本学天文台が6月4日(月)、一般公開された。この日は、部分月食が見られるとあって、午後6時から天文ミニ講座、同7時から観望会が行われた。

ミニ講座のテーマは「最も近い天体・月」。澤武文教授が「月は天体の中でも最もなじみが深く、しかも地球に最も近い天体。月の満ち欠けの周期が暦の1カ月の基になっており、人間生活とも密接にかかわって



いますが、今回は暦などではなく、天体としての月に注目してみます」などと解説。JAXAの月探査衛星「かぐや」がとらえた月の画像なども使って、月の起源や地形、地球とのかかわりなどを説明し、最近提唱された「ジャイアントインパクト説」という月の起源論も紹介した。質疑応答では参加者から月に関する質問が寄せられ、幼稚園児が「月はどうして傾いて回っているのですか」と素朴な疑問を投げかけ、澤教授が月の回転軸を体現しながら説明する和やかな場面も見られた。

午後7時からの観望会は、あいにくの曇り空で月食の様子が観測できず、参加者は天文台の40cm天体望遠鏡を見学。パソコン画面を見ながら星座の配置の話などを聞くなどして、夜空に思いをはせて、この日の観望会は終了した。



金星の日面通過特別観望会(6/6)

金星が太陽と地球の間を通過する「日面通過」を観察する観望会が6月6日(水)午前7時~午後1時30分、本学天文台で開催され、学内外からの多く見学者が訪れた。

この日は天候にも恵まれ、天文台の40cm望遠鏡や屋上に設置した小型望遠鏡では、目を保護する特殊なフィルターを通して、金星が太陽と地球の間を通過する様子が観察された。見学者からは「見えた!」「きれい!」などと歓声も上がって、宇宙の不思議を体験する貴重な機会になったようだった。



観察時間が水曜日の昼間とあって、授業の合間に参加する学生や、昼休みを利用して訪れる教職員などで、公開時間中、見学者が絶えず、観望会を主催した澤武文教授は「多くの人に参加してもらって、よかった」と笑顔で来場者の対応に追われていた。

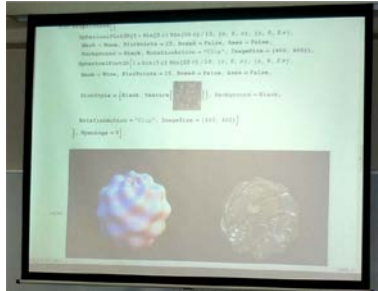


セミナー「Mathematicaによるデータ解析(6/6)

6月6日(水)午後1時半~3時半に、情報処理センター2階マルチメディア演習室で、セミナー「Mathematicaによるデータ解析-研究・教育における活用と展開-」を開催した。

Mathematica は大学における研究、教育において幅広く利用されているデータ解析ソフトであり、セミナーでは開発を行っているウルフラムリサーチアジアリミティッドより理学博士 中村英史氏と小寺可那子氏を講師に招いて、発展的な数式計算から統計解析や先進的な回帰分析、グラフィックス機能による効果的な可視化方法について、分かりやすく、実践的な内容で、その活用と展開を紹介していただいた。

質疑応答では、専門分野での研究における応用の方法や、教育においていかにして活用するかに関して質問があり、



Mathematica によって効率的な研究や学習が可能となることで、創造性を高めることが期待できるとの説明がなされた。

Mathematica は幅広い分野で活用されており、本学の研究、教育の水準向上のために、さらに活用されることを願っています。

Mathematica のご紹介 (日本語)

<http://www.wolfram.com/index.ja.html>

(地域社会システム講座 准教授 水野英雄)



実習園で田植え(6/7)

本学キャンパスの実習園で、恒例の田植えが6月7日(木)に行われた。技術専攻の1年生の授業の一貫として毎年実施し、この日は学生13人が挑んだ。

学生たちは、太田弘一教授(技術教育)や、実習園の管理を担当する長友武志さんらの指導を受けながら、稲の苗を手で植える「手植え」と、田植え機を使った「機械植え」の両方を体験。「真っ直ぐに植えないと、刈り取る時に大変」とアドバイスされて、ぬかるむ田んぼに



裸足で入り、足を取られながらも、懸命に苗を植え付けていた。

この日は2区画分の田んぼ約800㎡の田植えを完了。そのうち1区画には、アイガモ約20羽を放して雑草などを食べさせ、農薬使用をできるだけ控える「アイガモ農法」に挑戦。11月の収穫に向けて、今後も順次、稲作の作業が行われる。



陸上部の中野弘幸さんら日本選手権に出場(6/8-10)

本学陸上部の中野弘幸さん(大学院保健体育専攻・M2年)が、6月8日(金)～10日(日)に大阪市長居陸上競技場で開催された「第96回日本陸上競技選手権大会 兼 第30回オリンピック競技大会代表選手選考競技会」に出場し、男子400mで第2位となり、オリンピック男子4×400mリレーの代表候補に選出された。また、同大会では堂之下藍さん(初等・保健体育選修・3年)が女子走り高跳で8位に入賞、花岡紗耶さん(同・4年)が女子3000m障害で13位となった。

中野さんは、8日予選を1位で突破し、9日の決勝に出場。五輪代表の選考を兼ねた試合を現地で応援しようと、本学からバス2台で学生や職員計60人がスタンドに乗り込んだ。午後7時40分に試合開始、結果は2位、記録は46秒23。1位選手と0.05秒の僅差で、個人種目の代表



を逃したものの、大舞台での健闘に応援団の面々から力強い拍手が送られた。中野さんは「珍しく緊張して、記録は不本意でしたが、最小限の目標は達成できた」とレースを振り返った。

11日には、日本陸上連盟がリレーの代表を発表し、中野さんは代表候補に。日本のリ



レーチームメンバーには登録されたが、日本が出場するためには7月2日時点で世界上位16カ国（地域）にランクインしていることが条件。正式に代表となるかは今後のヨーロッパ選手権、アフリカ選手権、日本が出場可能なオセアニア選手権の結果により決定される。日本のランクアップのために中野さんも日本陸連からの要請を受けて6月下旬のオセアニアでの大会に出場予定で、五輪出場の夢をかけた闘いに挑むことになっている。



シンポジウム「今後の教員養成高度化の在り方」(6/9)

名古屋ルーセントタワーで6月9日（土）、本学主催のシンポジウム「今後の教員養成高度化の在り方—新免許状創設で大学に求められるものは何か—」が開催されました。約60人が参加し、盛会となりました。

「教員養成の高度化の在り方」をテーマに講演された松木健一先生（福井大学大学院教育学研究科教職開発専攻長）は、中央教育審議会教員の資質能力向上特別部会基本制度ワーキンググループ委員。講演は「審議のまとめ」の内容について、ワーキングでの論議もふまえ、今後の教員養成の在り方を示唆する内容で、教員の大量退職、学校文化の継承、教師の自己改革など「高度職業人」としての教員養成改革の方向が示されました。



講演の後、折出健二・本学副学長の司会で、松木先生に加えて、酒井博世先生（名城大学教職センター長）、宮川充司先生（椋山女学園大学教育学部教授）、中妻雅彦（本学大学院教職実践専攻代表）から論点の提示を受けて、パネルディスカッションを行いました。

パネリストから、私立大学の教職と企業就職をともに追求せざるを得ない現状、迷いながらも実習にのぞむ学生が成長していく姿などから、私立大学を含めて教員養成改革の方向を考える必要性が語られました。

今後、国立教員養成系大学と私立大学を含む地域の教員養成をする大学の連携、大学と教育委員会・教育行政との連携などを進めていくことがそれぞれの立場から強調されました。

（本学大学院教職実践専攻代表 中妻雅彦）



ニューヨーク州立大学フレドニア校学長が本学訪問(6/12)

6月12日（火）、本学の協定校である米国・ニューヨーク州立大学フレドニア校から、Dennis L. Hefner 学長、Virginia Horvath 副学長と副学長の夫で同校教授である Brooke Horvath 博士が本学を訪問した。

今回の訪問は、Hefner 学長の退官と、それに伴う Horvath 副学長の学長就任のあいさつを兼



ねたもの。本学は同校と1988年6月に学术交流協定を締結しており、フルブライト研究員の受入をはじめとした教員交流や、日本語・日本文化短期研修プログラム参加学生の受入、本学学生の短期体験留学などの学生交流を通じ、学术交流を進展させてきた。

本学到着後、一行は松田正久学長を表敬訪問。都築繁幸理事、岩崎公弥理事、宮川秀俊国際交流センター長、長年同校との交流担当教員を務めた安武知子特別研究員が出席し、松田学長からはHefner学長の16年

にわたる在任中の労をねぎらうとともに、本学との協力関係構築への尽力に感謝の意が伝えられた。併せて、同校初の女性学長として就任するHorvath副学長と、今後の交流活動の活性化に向け互いに努力していく意思を確認した。

表敬訪問後は都築理事と安武特別研究員が同行し、国際交流会館(留学生寮)や音楽棟、ガラス工房などを視察、続く松田学長主催の昼食会では日米それぞれの教育諸事情や、日本に滞在歴のあるHorvath副学長の日本での思い出話について、和食を楽しみながら懇談した。



(教育創造開発機構運営課 国際交流センター 宮内 春菜)

2012年度JICA集団研修開講式(6/12)

2012年度のJICA集団研修「産業技術教育」コースの開講式が、6月12日(火)、本部棟第三会議室で開催された。同研修は、本学の宮川秀俊教授(技術教育)をコース責任者として、JICAが発展途上国の産業技術教育分野の発展を担う人材育成を目的として実施するもので、今回で14回目。



開講式には、ボツワナ、南アフリカ、カンボジア、エジプト、トルコの5カ国9人の研修員とJICA関係者、本学からは役員をはじめ講義を担当する教員等が出席。開講にあたり、松田正久学長から「“ものづくり”で有名な愛知県で日本の産業技術を学ぶとともに、昨年の東日本大震災からの復興に活用されている日本の技術から多くのものを得て、自国の発展や日本との関係強化に貢献していただきたい」と期待の言葉が寄せられた。



また、開講式修了後には場所を移して歓迎会が開催され、昼食をとりながら和やかな雰囲気の中で、各国の教育事情や産業技術教育についての意見交換が行われた。

7月20日(金)までの約1カ月半にわたり実施される研修では、文部科学省初等中等教育局教科調査官をはじめ、多彩な顔ぶれの講師陣と幅広いテーマの講義が設定されているほか、県内外の教育機関、企業等への訪問も予定されている。

(教育創造開発機構運営課 国際交流センター 宮内春菜)

津島東高校保護者が本学を見学(6/13)

6月13日(水)、愛知県立津島東高校の保護者53人と教員3人が、本学を訪れた。

一行はバスで到着すると、午前10時から本部棟第一会議室で、大学概要・入試・就職についての説明を総務課、入試課、キャリア支援課の担当職員から受けた。保護者からは「初等教育課程

と中等教育課程の違いは何か」といった質問や、入試に関する質問があり、中にはその後、入試課を訪ねて、職員に説明を受ける熱心な保護者もいた。

学内の施設見学では、第一共通棟の廊下から教室内の様子を見たり、自然科学棟、附属図書館、体育館の施設等を見学した。見学の後は、バスに乗り込み、本学を後にした。



お知らせ・報告・投稿

大学祭で本学の国際交流を紹介(報告)

本学の国際交流センターには、留学生支援部門、国際協力部門、協定校交流推進部門の3つがあります。この部門について、5月19日(土)と20(日)の大学祭で、昨年に引き続いて紹介しました。また、附属学校園からは、附属名古屋小学校の国際交流を紹介し、両日とも、国際交流に関心のある多くの高に見学していただきました。



会場では、本学の留学生が案内役となり、3部門で展



示紹介。中には、話が弾んで、和気あいあいと1時間ぐらい滞在される方もいらっしゃいました。見学の最後には「どの部分の展示が良かったですか」「どの国に行ってみたいですか」「どのような展示の工夫をしたらよいでしょうか」などについてのアンケート調査を行いました。2日間にわたって準備、実施にお手伝いいただいた留学生と大学祭実行委員のみなさんにお礼を申し上げます。

(国際交流センター長 宮川秀俊)

附属岡崎小学校で生活教育研究協議会(報告)

本学附属岡崎小学校では5月29日(火)、全国から1000人を超える多くの参観者をお迎えし、「第63回生活教育研究協議会」を開催しました。

「共に学び 共に生きる」を主題に掲げて進めてきた本研究も最終年次です。この4年間、仲間と共に問題解決に粘り強く取り組む子ども、仲間と考え合い、考えと高めようとする子どもを求め、各教科で実践を進めてきました。全体会では、本学が目指す授業づくりについて発表し、授業において具体的な提案をしました。授業では、自分の考えや思いを生き生きと語り、仲間の発言に真剣に耳を傾ける子どもの姿が見られました。また、子どもたちの話し合いを深め、自分の考えを見直すために教師が具体的なはたらきかけを示すことができました。その後の協議会は、教師のはたらきかけと子どもの姿を



結びつけながら、活発な議論が展開され、大変有意義な会となりました。今回は、従来の終日日程を午後日程にしたり、外国語活動を公開したりと、公立学校の先生方にとって、より実りある研究協議会にしようと、改革を進めてきました。参観いただいた方々のご意見を真摯に受け止め、さらなる研究推進や研究協議会の在り方を模索していきたいと考えています。

(附属岡崎小学校教頭 吉野薫)

愛知教育大学国語教育公開講座(お知らせ)

国語教育講座では本年も、一昨年、昨年に続き、下記の通り公開講座を行います。ぜひともご参加いただき、有意義なひと時を共有できますよう、ご協力のほどお願いします。

*

日時 2012年7月28日(土) 13時～17時

会場 知立市中央公民館 大会議室(80名定員) 名鉄「知立」から約1km。知立中学校と知立市役所の間にあります。(TEL 0566-83-1165)

参加費 1000円 ※当日、受付にてお支払いください。

申し込み 7月20日(金)までに①氏名(ふりがな)②所属③連絡先住所・電話番号・Eメールアドレスを明記の上、Eメール・郵送いずれかの方法で、下記丹藤博文研究室宛にお申し込みください。定員になり次第受付を終了させていただきます。

スケジュール 13:00 受付開始 13:30 第一部「文法を学ぶことの楽しみ」佐々木敦志(阿久比町・草木小) 塩野谷文雄(愛教大附岡崎中) 矢島正浩(愛知教育大)
15:00 第二部「文学教材を読み深める」加藤多恵子(西尾市・寺津小) 佐藤寿生(名古屋市中・日比野中) 丹藤博文(愛知教育大)

司会進行 中田敏夫・有働裕(愛知教育大) 16:50 閉会予定

※閉会后、会場付近にて懇親会を予定しています。こちらも、ぜひご参加ください。

【申し込み・問い合わせ先】

448-8543 刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学 国語教育講座 丹藤博文研究室

TEL 0566-26-2223 E-mail h-tandoh@aeu.ac.jp

教職大学院のイベント(お知らせ)

教育実践研究科(教職大学院)から6月、7月に開催のイベントの案内です。

*

*

●教育実践研究科(教職大学院)体験授業

教育実践棟模擬授業室

講義形式:ワークショップ型・各30分

終了後に入試説明会を開催します。

6月20日(水) 13:30～14:40

対象:教職を目指す大学4年生

- ① 子どもとのキャッチ&レスポンス能力を磨く
- ② 「子どもとの出会いを演出する～学級びらきのポイント～」

●教育実践研究科(教職大学院)公開授業

第一共通棟302教室

両日終了後に入試説明会を開催いたします

7月3日(火)

- ① 10:50～10:40 「カリキュラムの開発と評価Ⅰ」
- ② 13:20～14:50 「授業づくりの内容と方法」
- ③ 15:00～16:30 「自律する学校づくり」

7月6日(金)

- ① 10:50～10:40 「心の教育と道徳教育の推進」
- ② 13:20～14:50 「問題行動の理解と生徒指導・相談活動の進め方」
- ③ 15:00～16:30 「学級経営ワークショップ」

問い合わせ・参加申し込み:教務課教職大学院担当係

support_ml@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

詳細は、教職大学院ホームページを参照

<http://www.aichi-edu.ac.jp/kyoshoku/>

その他の催しもの案内

◆夏のランチタイムコンサート

6月27日(水) 12:00~13:15

附属図書館2階 アイ♥スペース

音楽選修・専攻2・3年生合唱選択者が出演。曲目は「花」「さくら」「空の正面」ほか。

◆第1回LAものづくりセミナー

6月29日(金) 16:45~18:45

第一共通棟 207 講義室

対象：本学教職員、学生

タイトル：「ものづくり のまえ」

講師：山本高之（美術作家。本学大学院を終了後、ロンドンのチェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザインMAを修了。世界各地の展覧会で発表を続け、パフォーマンスやアニメーションを制作するプロジェクトを行っている。詳細は<http://takayukiyamamoto.com>）

問い合わせ：愛知教育大学教育創造開発機構 大学教育研究センター
リベラル・アーツ教育部門 長谷川詩織

TEL 0566・26・2552

◆Unoセクション「人形と版画展」

7月5日(木)~10日(火) 10:00~17:00 水曜休

刈谷駅前商店街「スペースAqua」

卒業生の宮本美代子さん、川合恵子さんによる人形と版画の展示。自然をテーマにしたシルクスクリーンの展示と球体間接人形が表情豊かに不思議な世界を創造する。

問い合わせ TEL 080・1568・2656

ホームページ <http://www.web-aqua.info/>

◆愛知教育大学 第五回サイエンス・カフェ

7月7日(土) 18:00~19:00 入場無料、申し込み不要

自然科学棟5階 地学538教室 雨天時も講座は開催

18:00~19:00 講座「天の川に潜むブラックホール」

講師：高橋真聡教授

19:00~19:30 カフェ・タイム

19:30~21:00 「七夕星空観望会」、上映会「3D宇宙の旅」

問い合わせ：理科教育講座天文学研究室 TEL 0566・26・2624

詳細は、天文台ホームページを参照

<http://tenmon.phyas.aichi-edu.ac.jp/>

編集後記

第96回日本陸上競技選手権大会の応援と取材で、大阪・長居陸上競技場に行ってきました。陸上競技観戦は初体験。トラックのあちこちで、同時に競技が行われているのも、新鮮な光景（当たり前といえば、当たり前ですが…）でした。やり投げの注目選手が投げ終えるごとに雄叫びを上げると、客席からも大歓声



が沸き、大興奮の渦に包まれました。古代オリンピックから脈々と続く陸上競技。シンプルさゆえに、人間の能力の限界を極めようとするその姿に、神々しささえ感じました。これまで個人的には縁の薄かった陸上競技ですが、これからは違った見方、楽しみ方ができそうです。（K）

投稿のお願い

学内外の出来事（教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など）に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール：kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp 編集責任者：総務担当理事 折出 健二